

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2017/12 号外

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 北大対策

前回に引き続き、宮澤宜法先生の英語編をまとめます。

第3問の全体概要

- ・出題形式 英問英答問題＋自由英作文問題
- ・テーマ 「仕事と生活のバランス」について
- ・総語数 372語 ・設問数 3個 ・難易度 やや難
- ・昨年度からの変更点 Question Bが1文英作型から空所補充型の英問英答に変更され、Question Cが「賛否型」から長所短所両方を述べる「両面型」の自由英作になった。また、「100語以上書いても減退対象にはならない」という条件がなくなった。
- ・合格目標得点率 60%以上

Question A の分析

- ・出題内容 本文を参考にして、They met as () and soon became good friends because they were both ().の空所を完成させる問題。
- ・解答のポイント どちらも①本文のアンサー範囲を確定して、②それらを提示された条件に合うように書き換える。

Question B の分析

- ・出題内容 本文を参考にして
 1. On workdays, a 20-minute journey by bike ().
 2. During summer, it is perfectly normal for Pierre ().

の空所を完成させる問題。

- ・解答のポイント Question Aと同様に、どちらも①本文のアンサー範囲を確定して、②それらを提示された条件に合うように書き換える。

・Question AとBに関して受験生に伝えたいこと

①必ず本文のどこか一部を参考にして解答する。

Question AとBで全体に関する問題は過去に出題されたことはない。

②北大は必ず何らかの文法的・構造的な書き換えを行わなければならないように空所を用意してくる。よく赤本等の模範解答にあるような語句レベルの書き換え(例えばaccuratelyをpreciselyに変えるような書き換え)を求めているわけではない。

Question C の分析

- ・出題内容 「日本の仕事と生活のバランス」のプラス面とマイナス面の両方を理由を付与して70語～100語で述べる自由作文問題。
- ・解答のポイント これまで北大が出題してきた賛否型ではないので、従来の序論・本論・結論の三部構成では書きにくい。両面型自由英作文の基本的な書き方を身につけておきたい。本文をコピーせずに、「日本の仕事と生活のバランス」の利点・欠点の両方を書く。

参考 両面自由英作文の書き方1

(確かに)～には良い点がある。 → ～の良い点やその理由を述べる

↓

しかし、～には悪い点もある

↓

～の悪い点やその理由を述べる

参考 両面自由英作文の書き方2

～には良い点と悪い点がある → ～の良い点やその理由を述べる

↓

しかし、～には悪い点もある

↓

～の悪い点やその理由を述べる

高評価の再現答案分析

- ・難解な表現・構文は用いず、簡単な表現を組み合わせた読み易くわかりやすいものになっている。
- ・理由の内容自体は陳腐でも、主張をきちんと裏付けるものになっている。
- ・可能な限り「抽象→具体」で論を進めることができている。
- ・繋ぎ言葉を的確に用いて、文と文の論理的なつながりがわかりやすいものになっている。
- ・些末な文法ミス・語法ミス・スペリングミスは多少あるものの、理解を阻害するような深刻なミスがない。

低評価の再現答案分析

- ・全体的に読み手に伝わりにくい、わかりにくい文章になってしまっている。
- ・文と文の論理的なつながりが希薄であるとか、文脈から全く乖離しているように思える文が存在する。
- ・あまりにも基本的なミスが多いため、全体として幼稚な印象を与えている。

英作文の注意点

- ・complete sentenceをコピーするなどという条件である。1語目からピリオドまでが文なので、その一部を引用するのはよい。
- ・内容は、自分の英語を書く力から逆算して意見を作る。そもそも100語しか書けないので、オリジナリティは求められていない。
- ・語数は、70語～100語ならば採点対象。71語はOK。100語を越えると減点だろう。

第4問の全体概要

- ・出題形式 会話文要約完成問題
- ・総語数 619語(会話文)＋302語(要約文)
- ・テーマ 「政府による検閲」に関する対談
- ・設問数 12個

- ・難易度 標準
- ・合格目標得点率 8問以上正答
- ・昨年度からの変更点 24個の与えられた語句の中からそれぞれの空所に当てはまるものを選択するという2014年度以前に似た形式に戻った。

北大英語対策の留意点

- ・基本語彙の定着・・・発音・アクセント 品詞・スペリング 意味・語法
 - ・文法力・構文把握力の伸長
 - ・書き換え演習を通じた表現力の育成
 - ・自由英作文で使える表現の増強
 - ・語法について詳しく知らなければならない。
- remindの語法なら、①remind A of B, ②remind A that S + V, ③remind O to Vの3つの使い方を知っておくべき。

全体の時間配分の目安

- ・大問1 20分前後
 - ・大問2 20分前後
 - ・大問3 25～30分
 - ・大問4 15～20分
- ※全ての大問に満遍なく時間を配分することを徹底したい。

◆特集 試行調査（プレテスト）、公表される！

大学入試センターは先週の4日、センター試験に代えて2020年度に始める大学入学共通テストに向けて11月に実施した試行調査（プレテスト）の問題・解答及び正答率などを公表しました。

プレテストは英語以外の計11科目で実施され、国語と数学ⅠAは記述式が導入されました。また、全国の高校の4割にあたる約1900校の2、3年生延べ約18万人が参加しています。記述式問題は小問3問ずつが出され、生徒は自己採点も行っています。尚、記述式の採点結果の公表は来年3月になる予定です。

マーク式は既に採点が終了しており、全科目の正答率の最高は87.1%、過去3年のセンター試験は最高が90%超で、プレテストは全体的に低い傾向でした。

国語では性質の異なる文章を読ませたり、地理や日本史、世界史などで複数の資料やグラフから必要な情報を読み取らせたりする問題が多く出題されました。その結果として小問は過去3年のセンター試験と比べると減る一方で冊子のページ数が増えました。解答に時間がかかったためか、終盤の問題は無解答が目立ったようです。

正答の数を示さずに選択肢の中から正答を全て選ばせる問題や、選択肢の中に正答がない場合、「0」をマークさせる問題など新たな形式の問題も11科目中、9科目で出題され、合わせて16問出されました。このうち正答率が30%超えたのは4問で、10%未満も3問あり、全科目で最低の0.9%だったのは数学ⅠAの正答を全て選ばせる問題でした。

数学ⅠAの記述問題に関して、大学入試センターが公表した問題のねらいを一部抜粋し、それに対する駿台予備学校、代々木ゼミナールの分析をまとめてみましょう。

数ⅠA 問題のねらい

第1問

〔1〕コンピューターのグラフ表示ソフトを用いた場面を設定し、2次関数の係数の値の変化に伴ってグラフが移動する様子を考察する問題である。単に計算によって式や数値を求める問題とはならないように工夫している。

論理的に推論したり解決過程を撮り返ったりしながら、見いだした事柄の根拠を数学的な表現を用いて説明する力を問う。

〔2〕三角形の形状と三角比に関する命題について、その探究過程の会話文を読みながら、命題の条件を変えるなどして論理的・発展的に考察する問題である。

得られた結果を基に批判的に検討し、概念を広げたり深めたりする力を問う。

第2問

〔2〕都道府県別の観光客数やその消費総額などのデータについて、散布図や箱ひげ図を用いたり、データを処理したりして考察する問題である。散布図におけるデータの特徴を読み取るとともに、その方法を数学的な表現を用いて説明する力を問う。

駿台による分析

難易度はそれほど高くない。ただ、受験生の思考過程を一定の分量を割いて書かせる国立大の2次試験問題とは異なり、出題者の意図に沿って一部を短く解答させる形式で、正答条件の制約が多い。理解しているのに誤答となる生徒がいるかもしれない。

例えば第2問では、「直線が原点を通る」と記述することを正答の条件にしている。だが、数式を使うなど別の説明でも正答となる可能性があり、解答の自由度が低い。

また問題文自体が長く、内容を把握するために時間がかかり、一般的な読解力の高校生は時間内に全てに手が回らなかったかもしれない。大学入学共通テストの担いの一つである思考力を問うため、身近な事象を数式や記号に置き換える力を確かめたいのは理解できるが、数学なのに「国語力」が多く問われた出題になっている。量や内容の調整が必要だろう。

代ゼミによる分析

- ・試験時間に対し、情報処理量が多いため、数学の力だけではなく、従来以上に「空所補充」の受験対策が重要となる。
- ・数値を計算させる問題が減り、計算を必要としない択一式の問題が増えている。
- ・第2問・第3問では現実の社会に密着したテーマを選び、従来とは全く違う出題の形式となっている。
- ・従来のセンター試験の図形問題は、受験者にある程度の解法の選択の自由があったが、この試験では指示通りにやる方法しかなくなっている。
- ・記述式の問題については、論証を述べるような出題ではなかった。

ここから分かることは3つあげられるでしょう。

- ①問題文が増えることで「読解力」がより大切となる。
- ②社会生活で身近なテーマから問題が出される。
- ③記述式は「出題者」による細かい条件に基づいて解答する。

さて、全ての問題、解答、記述式を除いた正答率は大学入試センターのホームページでアップされています。1・2年生はぜひ解いてみてください。私も解きます！！